

活躍の記録



絆

きずな

平成24年1月

第17号

荒川区立南千住第二中学校

校長 齊藤 進

奇跡の一本松のように

校長 齊藤 進



明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、津波で壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市では、日本百景に選ばれた名勝「高田松原」も無残に削り取られました。しかし、約7万本の松林のうち1本だけは津波の猛威を耐え、がれきの中で空に向かって立っています。この松は震災直後から「復興のシンボル」ととらえられ、「奇跡の一本松」などと呼ばれるようになりました。ここで、被災された方々にとって一本松の意味することは何か、ジャーナリスト佐藤慧氏の思い（一部抜粋）を紹介します。

全てを呑み込む大津波は、高田の松原もなぎ倒した。
我が家に突き刺さる巨大な松は、その津波の恐ろしさを示していた。
見慣れた光景を歩くには、全てが変わりすぎていた。
そこら中に痛みが、悲しみが転がっていた。
そんな中、あの大津波にも倒れることなく、堂々と聳（そび）える一本の松があった。
松原の東の端にただ一本、
神々しい朝日を浴びて、その松は立っていた。
何本が残ったわけではない。
ただ一本、その松だけが残ったのだ。
これは何を意味するのだろうか。
意味なんかないのかもしれない。
人間は、自然の残す言葉を理解するには小さすぎる存在だ。
それでもこの松を見ると、
それは人間がこの困難を乗り越えて、
前に進んでいけるようにと強く語りかけているような気がしてならなかった。
町中に散乱する松。
このただ一本残った松も、大切な仲間たちを失い、
それでもなおここに堂々と立ち続けているのだ。
ともに前に進もう。
残されたものは、強く立ち上がっていかなければならない。
与えられたもの全てに感謝しながら

(裏面に続く)

佐藤氏の思いは現代社会に生きる全ての人々に語りかけているように思えてなりません。改めて一日も早い復興に私たちができることを考え、引き続き取り組んでいかなければなりません。

保護者、地域の皆様には本校生徒が被災地に思いを馳せ、力強く、いっそうたくましい生徒に成長するよう本年もお力添えをよろしく願いいたします。

親子レク大会（1年）

12月17日（土）1・2校時に1年生の「親子レク大会」が実施されました。PTA1学年委員会が企画・準備を担当し、当日も朝早くから30名以上の保護者の方々が参加してくださいました。大会は各クラスが2チームずつの計4チームと各クラスの保護者1チームずつで合計6チームに分かれて行われました。大会は「風船運びリレー」「碁石拾い」「風船割り」「南千住〇×ク

【風船運びリレー】

イズ」の4種目で進められ、大接戦の結果は、なんと1組と2組の合計得点が同点でした。これにはびっくり。最初から最後までたいへん盛り上がったレク大会となりました。



地域清掃（2年）

12月17日（土）1・2校時に2年生は地域清掃活動を実施しました。この清掃活動は7月に実施した3年生と同様な計画で進められ、各クラスが2グループ、合計6グループに分かれ、教員や保護者ととも南千住駅からコツ通り、素盞雄神社など学校周辺の南千住7丁目・6丁目を中心とした地域で行いました。

この日はたいへん寒い日でしたが、みな熱心に清掃活

【学校の周りには落ち葉がたくさん】

動に取り組み、なんと45リットルのゴミ袋10袋分のゴミを拾いました。みんなで拾った10袋のゴミが南千住の街から消え、街がきれいになったと思うと、とてもすがすがしい気分になりました。

保護者の皆さんにも参加いただきました。ありがとうございました。また、この清掃活動は3月に1年生も行う予定です。保護者の方、地域の方々のご参加もお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。【保護者の皆様ありがとうございました】



12月のお忙しい時期に「学校関係者評価アンケート」にご協力いただき、ありが

とうございました。

義援金（第2回）

ご協力ありがとうございました。

1月21日に日本赤十字社を通じ第2回目の東日本大震災義援金として**50,512円**を送金させていただきました。ご協力ありがとうございました。震災より10ヶ月が経過し災害の記憶の風化が危惧されておりますが、本校では今後も様々な形での支援を続けていきたいと考えています。

セーフティ教室

12月17日（土）3校時に日本赤十字社東京都支部ボランティア課より本多貴久係長をお招きし、全校生徒と保護者を対象にセーフティ教室を開催しました。3月に発生した東日本大震災における災害現場や救援活動現場の様子についてビデオを交えてお話いただき、災害発生時の恐ろしさがひしひしと伝わってきました。近い将来発生すると予想されている東海沖地震や首都直下型地震等の災害に対して、日頃より危機意識をもって

【震災の様子を語る本多さん】

生活することの大切さを再確認することができました。また、当日は多数の保護者の皆様にも参加いただきありがとうございました。



ようこそ青年海外協力隊

12月20日（火）JICAから3名の青年海外協力隊員の方をお招きし、3年生を対象に「ようこそ青年海外協力隊」講演会を開催しました。滞在された各国の文化や風土、協力隊員としての活動や体験を紹介いただき、日本とは異なる様々な国の様子を知ることができました。また、日本が取り組んでいる国際交流についても理解するよい機会となりました。

今年お招きした講師の方々をご紹介します。

浅水 伸介さん 理数科教師（カンボジア）

浦 輝大さん 体育（バヌアツ）

横井万貴子さん 助産師（セネガル）



【3年3組で講演している横井さん】

南千住の歴史コーナー



都電三ノ輪橋停留場

早稲田～三ノ輪橋間を運行する『都電荒川線』の始発・終着停留場です。関東の駅100選の一つで、平成19年には昭和30年頃をイメージしたレトロ調のデザインに改修されました。沿線では、花のときに『花の観光地づくり大賞』を受賞した140種、12,600本のバラが咲き乱れます。

所在地：南千住1-12

荒川区産業経済部観光振興課

「荒川区南千住まちあるきマップ」より

たくさん表彰していただきました

あらかわ小論文コンクール

本校生徒が本年度の「あらかわ小論文コンクール」の区長賞に選ばれ、1月14日（土）に日暮里サニーホールで表彰式が行われました。また、2名が佳作に入選しました。

区長賞をはじめ3名が入賞しました



【区長賞の表彰】



【受賞小論文の朗読】

サッカー 区民大会

準優勝 優秀選手にも選ばれました

1月7日（土）～9日（祝）に第61回荒川区民大会が開催され、日頃の練習の成果を発揮し準優勝しました。また、1名が優秀選手に選出されました。



【準優勝のサッカー部】

吹奏楽部

アンサンブルコンテスト銀賞

1月14日（土）15日（日）に府中の森芸術劇場にて「東京都中学校アンサンブルコンテスト」が開催され、銀賞を受賞しました。この冬休みも毎日練習に励んだ成果が発揮されました。

ボランティア活動

中学生ボランティアとして活躍しました

1月15日（日）荒川スポーツセンターで、200名以上の小学生・幼児・保護者の参加のもと「新春タコあげ大会」が開催され、2年2名と1年4名の6名も中学生ボランティアとして参加しました。

年賀状の送付

生徒50名が作成し送付させていただきました

本校では社会福祉協議会と協力し区内の75歳以上の高齢の方々に年賀状の送付を行っております。本年も50名の生徒が年賀状を作成し送付させていただきましたところ、生徒への温かい励ましのあふれるお礼のはがきをたくさんいただきました。この場をおかりしてお礼申し上げます。

健康委員会

みんなの健康のために活動しています

1月16日（月）からの学校公開週間、作品展で『世界の料理調べ』を2階ホールにて展示しています。各クラス2名の健康委員が1年「アメリカ大陸」2年「ヨーロッパ」3年「アジア」の国々の料理について調べました。食事についての知識は健康にとっても大事なことです。健康委員はみんなの健康を願い一生懸命活動しています。